

京都市

街路樹サポーター通信



第5号(2012年 春・夏)

～街路樹サポーターの皆様へ～

日ごろより、本市の街路樹行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。
本市では、昨年度から紅葉街路樹の二段階剪定の取り組みを本格実施しており、街路樹サポーターの皆様の落ち葉清掃には、大変感謝しております。

今後、気温が上がり、植物の成長が活発な時期になりますと、除草作業についてもご迷惑をおかけすることとなりますが、引き続き、京都市の美化にご協力いただきますようよろしくお願い致します。



街路樹の歴史

街路樹は、平安京以来、京都の景観づくりにおいて重要な役割を担ってきました。

今回は、街路樹の歴史について簡単に取上げます。

【平安時代】

朱雀大路や北野天満宮前などにヤナギやエンジュ、サクラなどの並木が植えられていたようです。

【安土桃山時代】

織田信長により東海道、東山道に街道並木としてマツとヤナギが植えられ、一里塚としてエノキを植栽していたようです。

【江戸時代】

慶長年間(1596～1614年)、徳川氏により全国の街道にマツやスギが植えられ、京都では、加茂街道にクロマツが、主な川筋にはヤナギやサクラが並木として植えられました。

【明治以降】

明治30年代には、琵琶湖疏水沿いにサクラやヤナギが植えられ、散策路として整備が進み、サクラの名所として現在に至っています。

また、現在につながる近代的な「街路樹」の始まりは、明治45年に烏丸通にユリノキを植栽したのが最初とされています。

大正時代には、都市計画法が制定され、都市計画街路の整備に伴い、街路樹の植栽が進められました。

それ以降も、道路の新設及び改良に伴い、街路樹が植栽され、現在に至っています。

サポーターの現況

平成24年5月末現在、55団体、1,054名の方々にサポーター活動を行っていただき、落ち葉清掃や除草などにご協力をいただいております。

サポーター紹介

今回は、「花と緑のグリーンベルト」様を紹介させていただきます。「花と緑のグリーンベルト」様は、堀川通(高辻通～五条通区間)の46本の街路樹を対象に、16人の会員の方々に、灌水作業や清掃などを中心に活動していただいております。

毎年、ヒラドツツジがきれいな花を咲かせています。



お世話していただいている街路樹

平成24年度の街路樹に関する主な事業

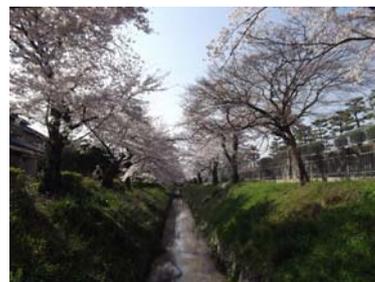
1 桜景観創造プロジェクト（桜リフレッシュ工事）

市民や観光客の目に触れる機会の多い桜並木（街路樹）の保全を図るため、安全確保と沿道景観向上の観点から優先順位を定め、寿命を迎えるサクラ（ソメイヨシノなど）の植替えなどを行います。

当事業は平成22年度の桜並木の樹勢診断調査を経て、平成23年度から実施しております。

なお、平成23年度は、第二疏水分線（左京区）、木屋町通（中京区、下京区）及び白川南通（東山区）を対象として、合計40本のサクラの更新を行い、併せて、景観に支障となる樹木の撤去も実施しました。

また、当事業では、平成27年度末までに約150本のサクラの更新を目標としています。



第二疏水分線(左京区)のサクラ並木

2 道路の森づくり

当事業では、歩道だけでなく、中央分離帯にも新たに高木（ケヤキなど）を植栽することにより、緑あふれる景観を形成し、歩行者や自転車に配慮した道路環境の整備を進めるものです。

これまでに堀川通、川端通、北大路通、御池通の中央分離帯に植栽を行ってきましたが、今年度は、烏丸通の丸太町通～御池通区間の中央分離帯に高木を植栽する予定です。

3 街路樹更新計画策定とリフレッシュ工事

当事業では、肥大生長により根上がりを起こした街路樹や老朽危険木などを対象として、植替えを行うものです。

平成23年度には、久世橋通などで合計50本近くの街路樹の植替えを実施しました。

平成24年度は、植替え工事を実施するとともに、街路樹の更新計画を策定します。

シリーズ ～街路樹紹介～（第5回）

このコーナーでは、主な街路樹の特徴などを紹介していきます。

今回は、「ケヤキ」を紹介します。ケヤキは、京都市の高木約5万本のうち、約3,500本（約7%）が植栽されており、5番目に多い樹木です。

【特徴】

- ・落葉高木であり、秋には褐色に紅葉します。
- ・樹皮は灰褐色で、老木になるほど鱗片状にはがれます。
- ・葉は互生し、長さ5cm程度の卵形で、質はやや薄めです。
- ・生育が良く、通常、高さ20～25mにまで成長します。中には、高さ50m、直径5mに達する巨木もあります。
- ・葉の展開（4月頃）と同時に花が咲きます。
（ただし、樹高が高く花が小さいため、花を見つけるのは困難です。）
- ・ケヤキは日本の代表的な広葉樹のひとつであり、シンボルツリー、公園樹、街路樹として、広く植栽されています。京都市内でも、中央分離帯に植栽されることが多く、緑豊かな景観創造に重要な役割を担っています。



新林本通(西京区)のケヤキ並木